

10月6日に市民クラブの政策要求を行いました。具体的には8項目96点についての項目を取り纏め、その中から9項目目に平成30年度で取り組むべき重点課題として田上市長に提出しました。  
※要求した平成30年度予算で取り組むべき重点課題の一部抜粋を掲載。

取り組むべき項目

1. 新しい行政運営
2. 人間性を育み、生きがいと思いやりのあるまちづくり
3. 環境と共生するまちづくり
4. 産業活動を育む活力あるまちづくり
5. 安全、快適で魅力あるまちづくり
6. 核兵器廃絶・世界平和を希求する長崎市づくり
7. 男女共同参画社会の実現
8. 道路・交通体系の整備



重点課題

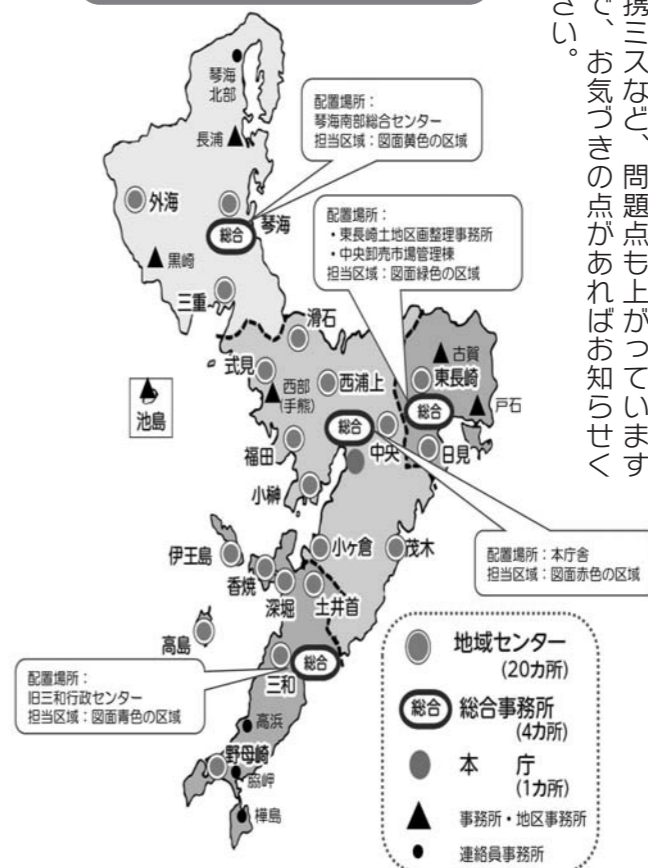
- ◇ 交通政策基本法制定に伴い、協議会の設置及び担当職員の配置を図ること。
- ◇ 行政改革の推進と行政サービスの効率化
- ◇ 長崎市新市庁舎建設基本設計については、市民や議会の意見を反映するとともに、交通体系については方向性を早急に提示すること。
- ◇ 大型事業(長崎駅周辺整備、文化施設費)について、事業計画、施設整備や事業費など、特別委員会の答申も踏まえ、十分に精査して関係先や議会に適宜報告し対応すること。
- ◇ 子育て世代を支援するために、子ども医療費については、県と連携し中学生までに拡大すること。また、子育て支援センター未設置地区への設置を進めること。
- ◇ 長崎みなとメディカルセンターは、医療サービスの向上はもとより、安定した高度医療・周産期医療を提供できる病院として安定経営を構築すること。
- ◇ 高齢者が安心して暮らすことができる社会の実現を行うこと。
- ◇ 仮称「地域コミュニティ連絡協議会」の設置については、既存の自治会や地域住民の意見を聴取し、十分な理解のもと進めること。また、地域の担い手が少ない小規模なコミュニティに対しては積極的な支援を行うこと。
- ◇ 小・中学生の学校統廃合の実施にあたっては、地域住民・保護者の意向も尊重し十分な理解と協力を得て行うこと。
- ◇ 地場企業の育成と商店街の振興
- ◇ 地域の資源を活かした魅力ある観光都市の創造
- ◇ 歴史と文化を活かした魅力あるまちづくりの推進
- ◇ 東アジアの玄関口として、物流拠点である小ヶ倉柳埠頭の整備、長崎港のクルーズ船の2バース化を早期実現し、東アジアからの観光客など、人物の受入体制の充実を図ること。
- ◇ 企業誘致で雇用確保、定住人口の維持
- ◇ 長崎駅周辺の環境整備
- ◇ 斜面市街地の再生と防災体制の整備
- ◇ 長崎市住宅リフォーム補助事業を継続して充実を図ること。
- ◇ 高齢者障がい者が利用できるバリアフリー交通網(茂里町ハートセンターなど)の整備と歩道のバリアフリー化を促進すること。

地域センター・総合事務所を設置

長崎市は本年10月1日より、行政機能の再編を行い、今までの各支所の20か所を地域センターとし、また、総合事務所を中央(本庁内)と南(三和)と北(琴海)と東(東長崎)に設置し、行政機能の再編を実施しました。基本的には、市民サービスの向上のために、地域センターで殆どの日々の申請手続きや、相談への対応、地域ニーズの把握、地域のまちづくり支援など、地域を支える力を強化した組織に再編されたものと思っております。

しかし、再編以降、各関係部署ごとの連携、三和など、問題点も上がっておりますので、お気づきの点があればお知らせください。

地域センター全体配置図



ご相談はお気軽に!

長崎市の都1丁目1444-13  
自 宅 844-9599  
生活相談室 ☎ (861) 1985

長崎市議会議員



だより 第62号  
いつわ清隆

平成29年11月 発行責任者：五輪 清隆 編集責任者：福田 剛 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



長崎市は、人口減少に歯止めをかけるための「長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を昨年3月に策定し、具体的施策が推進されています。今後、さらに高齢化が進む中、消滅都市とならないためには、U・I・Jターンも含めた、働く場の創出と併せ、子供を産み育てる環境の充実が急務です。

併せて、住みやすい環境づくりのための地域コミュニティの仕組みづくりや行政サテライト機能再編についても、すべての市民が公平公正なサービスを受けられる仕組みとなるよう進める必要があります。

そういう中で、多額の財源が必要な大型事業(長崎駅周辺整備、新市庁舎建設、文化施設整備、端島(軍艦島)整備など)の整備が進められますが、財政運営は、一般財源の減少や扶助費など義務的経費が増加し、更に厳しい状況が懸念されています。

したがって、各種施策の立案・実施に当たっては、市民に対し丁寧な説明を実施するとともに、優先順位を決め、選択と集中により、長崎の経済が発展し、人が住みやすい環境づくりに努めなければなりません。

このことを踏まえ、市民クラブは、市政運営に対する考え方、および予算編成に対して、これまでの要求内容を踏襲し、検討・整理を行い、「活力ある住みよい長崎をめざして」をスローガンに、中・長期的視野に立ちながら、10月6日に政策提言を行いました。

今後、市政運営が市民の方々が理解できるように取り組めます。

長崎市議会議員 五輪 清隆

# 平成29年度一般会計補正予算 (5億7,600万円) 19の議案を可決!

平成29年9月議会



市議会9月議会は、9月1日から25日までの25日間開会され、総額5億7600万円の一般会計補正予算など、19議案を同意、承認しました。

しかし、仁田佐古小学校建設特殊基礎工事の請負工事の締結については、長崎市文化財審議会が遺構調査を求めている調査結果を待ち、長崎大学からの要望に対しての回答を整理するなど、今後の方針が定まるまで、議案を継続審査とすべきとの意見が出され、本議案を閉会中もなお、継続審査を要するものと、全会一致で決定し、議長に申し出を行いました。

そのほか、黒崎中学校を廃止し、出津小学校跡に外海中学校を新設する条例案を可決しました。

また、来年4月の尾戸小学校と長浦小学校の統合について、関係先の合意が得られ、12月議会では手続きが間に合わないために、10月6日に臨時議会が開催され、統合のための条例案を可決しました。

## 平成29年9月市議会定例会 補正予算の主な内容

- ◆議会活動費
  - 活動諸費：243万7千円
  - 長崎市議会議員団が市民友好都市である中山市(中国)の人民代表大会を訪問し、意見交換や交流等を行う経費を増額するもの。
  - 派遣期間
    - 平成29年11月2日～5日
    - 当初予算額 6416万3千円
- ◆都市間交流推進費
  - 都市提携及び親善交流費
    - 市民友好都市として交流を行ってきたライデン市(オランダ)と姉妹都市提携を行うことに伴い、提携調印式等を行う経費を増額するもの。
    - 提携調印式
      - 平成29年11月24日
      - 当初予算額 172万2千円

- 地球温暖化対策推進費(西工場余熱供給可能性調査費)
  - 国の「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」を活用し、西工場のごみ焼却熱の有効利用について、下水道処理施設や陸上養殖施設での実
  - 可能性調査を行うもの。
  - 出島運営費：396万6千円
  - 出島表門橋の完成及び「環長崎港夜間景観向上基本計画」に基づく出島エリアの夜間景観の整備を機に、出島の夜間の開場を行うもの。



西工場

○出島運営費：396万6千円  
出島表門橋の完成及び「環長崎港夜間景観向上基本計画」に基づく出島エリアの夜間景観の整備を機に、出島の夜間の開場を行うもの。

- ◆国・県支出金等返還金
  - 社会福祉費返還金
    - 市内内の指定障害福祉サービス事業者において、訓練等給付費の不正受給が発覚したことから、不正受給に係る国及び県支出金の返還金を増額するもの。
    - 当初予算額 11万円
  - ◆【補助】障害者福祉施設整備事業費補助金
    - 共同生活援助事業所
      - 共同生活援助 6名
      - 短期入所 1名
      - 補助率 3/4
    - 共同生活援助事業所設備
      - 共同生活援助 6名
      - 短期入所 1名
      - 補助率 3/4



出島完予想図

- ◆【補助】高齢者福祉施設整備事業費補助金
  - 共同生活援助事業所設備
    - 共同生活援助 6名
    - 短期入所 1名
    - 補助率 3/4
  - 共同生活援助事業所設備
    - 共同生活援助 6名
    - 短期入所 1名
    - 補助率 3/4

- 高齢者施設等設備
  - ：687万1千円
  - ※高齢者施設におけるスプリンクラー設備等の整備に対して助成するもの。
  - 対象施設
    - 2施設(東町、平間町)
  - 対象設備
    - スプリンクラー設備 2ヶ所
    - 消火ポンプユニット等 2ヶ所

- ◆地球温暖化対策推進費
  - 西工場余熱供給可能性調査費
    - ：1495万円
    - ※国の「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」を活用し、西工場のごみ焼却熱の有効利用について、下水道処理施設や陸上養殖施設での実可能性調査を行うもの。



出島エリア夜間景観のイメージイラスト

- 出島運営費：396万6千円
- ※出島表門橋の完成及び「環長崎港夜間景観向上基本計画」に基づく出島エリアの夜間景観の整備を機に、出島の夜間の開場を行うもの。
- 開場時間
  - 【変更前】8時～18時(夏場等 19時まで延長)
  - 【変更後】8時～21時
  - 当初予算額 1億3552万2千円

- ◆【単独】公園施設整備事業費
  - 稲佐山公園(スロープカー整備)
    - ：9146万円



写真は福岡県英彦山のスロープカー

※スロープカー整備について詳細設計を行った結果、基礎構造等の変更が必要となったことに伴い、事業費を増額するもの。

当初予算額 5億9150万円

## 朝鮮民主主義人民共和国の核実験実施に対し 厳重に抗議する決議

2017年9月3日に国際社会からの強い非難や制止があつたにもかかわらず、6回目の核実験が強行された。

貴国は、過去の核実験においても国際社会の制止を無視して核実験を強行し、北東アジア地域はもとより、国際社会の平和と安全に対し重大な緊張を与えており、本市議会においても、一切の核実験を中止するとともに、核兵器の完全廃棄及び核開発の即時放棄に向けた具体的な行動をとるよう強く求める決議を行い、貴国政府に対し送付している。

しかしながら、貴国は核実験のみならず、本年8月8日には、弾道ミサイルによるグアム島周辺の包囲射撃作戦を慎重に検討していると表明し、8月26日には日本海に向け複数のミサイルを発射、さらにその3日後の8月29日にも北海道、襟裳岬上空を通過し、北海道東方の太平洋上に落下したとみられる弾道ミサイルを発射するなど、世界恒久平和を求め国際世論を無視した態度を取り続けている。これらは、核不拡散条約(NPT)を中心とする国際的な軍縮不拡散体制に対する重大な脅威となる暴挙であるとともに、本年7月に採択された核兵器禁止条

約に込められた被爆者を初めとする世界の人々の積年の思いを踏みにじるものであり、断じて容認できない。

私たち被爆地長崎の市民は、「長崎を最後の被爆地に、人類は核兵器と共存できない」と訴え続け、かかる危険なみちを二度と許さないために、国連憲章の平和原則を尊重し、人類の未来に向かって核兵器廃絶の実行に踏み出すことに全力を挙げることを決意しており、このようなたび重なる愚行は、被爆者を初め、核兵器の恐怖を経験した被爆地として、激しい憤りを禁じ得ない。

よって、被爆地長崎の市議会として、核兵器を廃絶し、世界の恒久平和を願う立場から、貴国政府に対し、今回の核実験に厳重に抗議し、断固として非難するとともに、改めて、今後一切の核実験を中止し、直ちに核兵器の完全廃棄及び開発の即時放棄に向けた具体的な行動をとるよう、強く求める。

以上、決議する。

2017年9月6日

長崎市議会